

1.1哲学を研究する大学院生および非一常勤職研究者が現在置かれている現状を踏まえて次の設問にお答え下さい。現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何かだと思いますか。

★研究面

ID	自由記述内容	学会	年齢	性別
2	働きながらの研究すればよい	日本哲学会	63	男
34	科研等でメンバーに入れて業績を上げて得てもらいたくても非常勤先がなければ研究者番号を取得できないのでメンバーに加えられない	社会思想史学会	48	男
41	修士課程に入学できたが、今後博士課程に進学できるかどうかの見通しが立たない。研究の継続を希望しても相対的に枠が少なすぎる。修士号の取得だけでは実質研究者として何にもならないに等しい。進学を受け皿を増やして欲しい。	不明	36	女
63	学籍がないと図書館で本が借りられず、書庫の本を閲覧・コピーすることもできない	日本哲学会	31	男
73	非常勤食だと電子ジャーナルが使えないなど、差別がある	科学基礎論学会	33	男
78	研究者を向上させる為に、全力を尽くす教授・教官が少ない。	科学基礎論学会	76	男
82	哲学の場合、海外で勝負するという風潮がない。	科学哲学会	30	男
117	企業に対するアピール不足(哲学を経営や消費者行動に生かせる、などのアピールが伝わってこない)	科学基礎論学会	35	男
128	大学教員間の足の引っ張り合い	日本科学哲学会	36	男
134	変な(自称)研究者による妨害	日本科学哲学会	40	男
144	勤務先の大学での雇用期限が迫るが、校務が多すぎて研究の余地がない。	表象文化論学会	33	女
162	妊娠・出産・育児への無理解	慶応義塾大学哲学学科メーリングリスト	37	女
187	PD申請手続きの繁雑さ	中世哲学会	31	男
188	研究以外の仕事が多忙をきわめていること	中世哲学会	53	男
190	男女間でなくても指導に差別がある。	中世哲学会	33	女
208	千葉大学図書館に哲学書の蔵書が少ない	哲学若手研究者フォーラム	27	女
210	学位取得が人事の形式的な要件になりつつあり、却って指導が行き届かないケースすら生じているように見受けられる	社会思想史学会	59	男
212	院生の身分に安住してしまい、たいした研究を行えない。	日本倫理学会	39	男